

平成29年度第9回みやま市教育委員会定例会会議録

- ◆召集日時 平成29年12月15日 午後2時00分
- ◆召集場所 みやま市役所山川支所 2階 第4会議室

1. 出席教育長・教育委員（3名）

- ・教育長 長岡 廣通
- ・委員 井上 正明
- ・委員 樺島 靖子

2. 欠席委員（2名）

- ・委員 堤 央宜
- ・委員 湯汲 和代

3. 事務局出席者（12名）

- | | |
|----------------------------|--------|
| ・教育部長 | 野田 圭一郎 |
| ・学校教育課長 | 加藤 武美 |
| ・社会教育課長 | 古賀 富美子 |
| ・指導室長 | 横山 浩志 |
| ・学校教育課課長補佐兼
学校教育係学務担当係長 | 松尾 郁代 |
| ・総務係長 | 小柳 るみ |
| ・施設係長 | 松尾 武喜 |
| ・学校再編推進係長 | 河野 成嗣 |
| ・指導室指導主事 | 伊井 和子 |
| ・指導室指導主事 | 馬場 英二 |
| ・教育研究所長 | 今村 田鶴子 |
| ・主任社会教育主事 | 江上 靖則 |

4. 傍聴人

- ・0名

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について
- (4) 議案第15号 みやま市就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

- (5) 議案第16号 みやま市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (6) 報告事項
- (7) 次回教育委員会について
-

【午後2時00分 開会】

【教育長】 瀬高中学校については非常に厳しい状態であったが、小中交流人事の効果が現れつつあり、校長を中心にチーム作りをして取り組んでいって欲しいと思う。東山中学校については、まだ小中交流人事の成果は出ていないが、来年早々には作戦を立てて取り組んでいただきたいと思います。いずれにせよ中学校の改革は来年度が勝負になると思うため、小中交流人事及び教育指導、学校経営の指導を今まで以上に総力を挙げて取り組んでいく。

ただいまから、平成29年第9回みやま市教育委員会定例会を開会いたします。

○日程第1 第9回みやま市教育委員会定例会の会期は平成29年12月15日の1日間とする。

・・・全員同意

○日程第2 会議録作成者は総務係長小柳るみとする。

・・・全員同意

○日程第3 会議録署名委員の指名については教育長と井上正明委員とする。

・・・全員同意

○日程第4 議案第15号

○みやま市就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱の制定について

【学校教育課長】 ー提案理由の説明ー

【教育長】 ・質疑等ありませんか。

「質疑なし」

【教育長】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第5 議案第16号

○みやま市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

【学校教育課課長補佐】 ー提案理由の説明ー

【教育長】 ・質疑等ありませんか。

「質疑なし」

【教育長】 ・議案どおり可決するものとしてよろしいか。

「異議なし」

・・・可決

○日程第6 報告事項

○教育部長

【教育部長】 ・12月議会報告（12/5～12/14）

4議員より小学校統合計画に伴う各般について、ICT教育を含む教育施策の今後の計画について、遺跡や遺物の調査について、スポーツ施設の健全な運営についての一般質問。一般会計補正予算報告。

・前回定例会以降のイベント（11/19 青少年健全育成大会、11/20 東山中学校訪問、11/22 総合教育会議、11/28 南筑後地区教育委員会連絡協議会研修会、11/29 大江小学校訪問、12/2 調べる学習コンクール表彰式、12/3 人権啓発講演会、12/10 市民駅伝大会出席お礼、12/14 オリンピックキャンプ誘致に係る調印式）

・今後の予定（1/6 消防出初式、1/7 成人式）

・終業式は12/22で、始業式は1/9となっている。

○学校教育課

【施設係長】 ・防犯カメラの設置について、現在中学校は高田中が残っており、先日業者が決定したため、設置工事を進めている。

小学校は、来月初旬に5校分の入札をかけて業者を決定する予定である。

○指導室

【指導室長】 ・適応指導教室「さくら」相談状況・利用状況報告（資料P1～2）

・調べる学習コンクールでは、約1700点の応募があり、表彰式では優秀作品者の発表があり非常に優れた内容であった。

○社会教育課

【社会教育課長】 ・11/19 青少年健全育成大会が開催され、約200名の参加があり、少年の主張では6名の小学生と2名の中学生が、将来の夢や思いやりの大切さなどを発表した。

・11/19 市町村対抗福岡県駅伝大会が開催され、みやま市から1チーム

(18名) が出場し 58 チーム中 38 位であった。

- ・ 11/25 の秋穫祭で小学生あいさつチャンピオン大会が開催され、市内小学生 75 名が参加し、大江小 6 年の中村拓夢君が優勝した。
- ・ 12/3 人権啓発講演会では 300 名近い参加者があり、障害者問題がテーマとなっており、アンケートでは色んな事を知ることが出来た、勇気づけられた等のご意見があった。
- ・ 12/10 市民駅伝大会が開催され、全 96 チーム 640 名程の参加。小学生が 13 チーム、中学生が 42 チームであった。
- ・ 12/14 オリンピックキャンプ誘致に係る調印式が終わり、今後の具体的な取り組みは会議で決定される。

【教育長】 ・ 質疑等ありませんか。

【井上委員】 ・ 青少年健全育成大会にて、高田中学校のみ作品の応募をしていなかったのので、次回からは少数でもいいので必ず出させていただきたい。

【指導室長】 ・ 校長より今後改善していくとの回答をいただいている。

【教育長】 ・ 市主催及び関連団体の行事は積極的に参加するよう各学校へは指導していく。
全体を通して何かありませんか。

【井上委員】 ・ 新学習指導要領で、道徳の時間が特別教科化に変わるが、今までの道徳の時間の小中学校の課題及び道徳の特別教科化によって、その課題はどういうふうに解決出来るのか。
また、来年度以降みやま市でどのように実施させていくのか。

【指導室長】 ・ 今までの道徳の課題として、単なる読み物資料の読み取りである読み物道徳と言われていた。中学校では、いい読み物の資料を使った授業で感動的にするというのが、熱心に取り組んだ授業と受け取っていた。道徳とは道徳性を養うとなっているが、道徳性には1つ1つの道徳的な価値項目があり、これを子ども達の考え方で組み立てていかせることである。道徳の時間は、この価値項目を大事なものであるという認識をさせるのが目的である。各学校にはまず、道徳の価値内容を先生方が解釈することが大事であり、解釈に基づいて具体策を考えていくよう小中学校に対して指導を行っている。
どの内容でも、自己をどう捉えるかが道徳の一番の目的であるということ、道徳の時間を通して今までの考え方や今後の考え方を再認

識させることである。自分自身を見つめる窓口として1つ1つの内容項目があるということ。教科化によって、そういったところをクローズアップさせて、教科としての道徳を浸透させていこうとしているのが、今後の動きになる。

【井上委員】 ・小中学校へはどのように進めていくのか。

【指導室長】 ・作成したリーフレットを活用しながら、大事なのは価値の解釈であること、それを子ども達にどう伝えるか具体的な目的を持って設定すること、自分のことを見つめ直すのが目的であることを授業者も子ども達も一緒に理解するよう各学校へ指導していきたい。
江浦小では、新学習指導要領に向かって道徳科として実践し発表していただいた。来年度以降は開小に移行するが、踏襲しながら価値の解釈を中心にしっかりと子ども達に理解させていく方向で進めていく。それぞれ発表やリーフレットを作成してもらいながら、小中学校に浸透させていきたい。

【井上委員】 ・評価はどうするのか。

【指導室長】 ・数値として評価しない。授業時のノートや発言をしっかりと記録をしながら、自分のことを捉えるために、こんな子ども達の様子が見られたと記述表記ですというのが評価となる。

○日程第7 次回教育委員会について

◎ 次回定例会 平成30年1月15日（月）午後2時00分～

【教育長】 これで本日の日程は全部終了しました。
平成29年度第9回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午後2時52分 閉会】